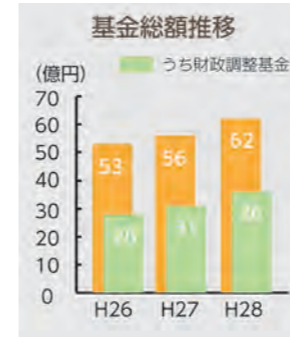


### 各会計の決算額 (単位：千円)

	歳入総額 A	歳出総額 B	差引 C=A-B	繰越すべき財源 D	実質収支 C-D
<b>一般会計</b> (市の基本的な行政サービスの経費を収支する会計)	15,676,559	15,208,695	467,864	43,330	424,534
<b>特別会計</b> (保険料などの特定収入で特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは分けています)					
国民健康保険特別会計	3,637,581	3,477,411	160,170	0	160,170
後期高齢者医療特別会計	298,271	298,187	84	0	84
農業者労働災害共済特別会計	2,693	2,652	41	0	41
<b>企業会計</b> (一般の会社と同じように、独立した収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計)					
水道事業会計	収益的収支	841,711	766,561	75,150	0
	資本的収支	66,995	261,699	△ 194,704	1,381
工業用水道事業会計	収益的収支	11,160	11,934	△ 774	0
	資本的収支	0	0	0	0
公共下水道事業会計	収益的収支	1,150,314	1,129,789	20,525	0
	資本的収支	889,785	1,314,624	△ 424,839	113,240
農業集落排水事業会計	収益的収支	71,867	69,893	1,974	0
	資本的収支	15,800	31,021	△ 15,221	0



15種類ある基金(貯金)の総額は約62億円となっています。そのうち58.6%を占めるのが、市の財政をやりくりするための貯金である「財政調整基金」です。

平成28年度は約5億円を積み立てています。

市の借金である市債の現在高は約311億円です。水道・公共下水道などの会計は約4億円減少しています。公共施設の建設や改修の際に長期的な借金をする理由は、建設時の納税者だけでなく、施設を利用すること世代間の公平性を保つためです。

# 平成28年度 決算

問合せ  
財政課  
73-8008

一般会計では、庁舎耐震補強工事や国営九頭竜川下流土地改良事業負担金、農業者トレーニングセンター改修工事を実施したことに加え、各小中学校コンピュータ整備事業や認定こども園施設整備などにより、歳入歳出とも前年度を上回る決算額となりました。

## 市の貯金 - 基金残高

## 市の借金 - 市債残高

一般会計歳入決算額 **156億 7655万9千円** (対前年度比 1.7%増)

一般会計歳出決算額 **152億 869万5千円** (対前年度比 5.8%増)



### 主な事業の決算額 一般会計

